

平成二十六年 前期 選抜 学力 検査

国 語

(十時～十時四十五分、四十五分間)

問 題 用 紙

- 意**
- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
  - 二、答えは、すべて**解答用紙**に書きなさい。
  - 三、問題は、**1** から **3** までで、**六** ページにわたって印刷してあります。

なお、問題用紙のほかに**別紙**があります。

- 注**
- 四、「開始」の合図で、**解答用紙**の決められた欄に**受検番号**を書きなさい。
  - 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
  - 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の(一)～(七)の各問いに答えなさい。(二十一点)

(一) 次の①～⑥の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。

① 貸与されたヘルメットをかぶる。

② 私のおじは柔和な人柄だ。

③ 速やかに集合する。

④ 図表で説明をおこなう。

⑤ むずかしい文章を読む。

⑥ 地域の防災くんれんに参加する。

(二) 次の文の [ ] に当てはまる言葉として、最も適当なものはどれか、下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

旅行に向けて洋服を [ ] する。

ア、身長    イ、慎重    ウ、深長    エ、新調

(三) 次の文の傍線部分と用法・はたらきが同じものはどれか、最も適当なものを下のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

電車は予定どおり到着するそうだ。

ア、寒いので、今にも雪が降りそうだ。    イ、この洋服は祖父に似合いそうだ。  
ウ、ケーキを食べている妹はうれしそうだ。    エ、兄の高校生活は楽しいそうだ。

(四) 敬語には、尊敬語、謙譲語、丁寧語の三種類がある。次の①～④の文の傍線部分に用いられている敬語は、それぞれあとのア～ウのどれに当たるか、最も適当なものを一つずつ選び、記号で書きなさい。

① 今日の日直は山田さんです。

② 卒業式で校長先生がお話しになる。

③ 新年のあいさつを申し上げる。

④ お手紙を拝見する。

ア、尊敬語    イ、謙譲語    ウ、丁寧語

(五) 次のAの文は、文の組み立てのうえから二通りの意味に取れる。それらの意味の違いを説明しなさい。

A 兄はうれしそうな表情を浮かべながら野球の試合を見る弟を眺めていた。

(六) 次の古文の傍線部分を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。

浦島太郎も、あはれと思ひ、同じ船に乗り、沖の方へ漕ぎ出す。  
(『御伽草子集』より)

(七) 次の短歌と【鑑賞文】を読んで、あとの①、②の各問いに答えなさい。

〔短歌〕  
坪野哲久

【鑑賞文】

(鑑賞文)

(佐佐木 幸綱 『短歌に親しむ』より)

① 【鑑賞文】の  に当てはまる言葉として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

〔ア、木の芽      イ、子ども      ウ、露地      エ、作者〕

② 【鑑賞文】の傍線部分「そんな春の露地が私の心に浮かび上がって来ます」とあるが、「そんな春の露地」とはどのような春の露地か、【鑑賞文】中の言葉を使って三十五字以上四十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(次のページへ) ←

2

別紙の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十七点)

(一) 傍線部分(1)「いうまでもない」を組み立てている単語の品詞の並び順として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、動詞↓助詞↓助詞↓助詞↓形容詞
- イ、動詞↓名詞↓助詞↓助動詞
- ウ、動詞↓名詞↓助詞↓形容詞
- エ、動詞↓助詞↓助詞↓助動詞

(二) 文中の **A** に当てはまる言葉として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、参考に
- イ、反対に
- ウ、一般に
- エ、安全に

(三) 傍線部分(2)「むい」は動詞であるが、その活用形として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、未然形
- イ、連用形
- ウ、連体形
- エ、仮定形

(四) 傍線部分(3)「一般に『実』と呼んでいる場合は、少なくとも三種類の場合同様に用いられている」とあるが、筆者は、何を「実」と呼んでいるのかを「三種類の場合同様に用いられている」と分けて述べている。この三種類をすべて、それぞれ五字以上十字以内で本文中から抜き出して書きなさい。

(五) 文中の **B** に当てはまる言葉として、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

「ア、それとも      イ、まるで      ウ、なぜなら      エ、つまり」

(六) 傍線部分(4)「これ」とあるが、「これ」が指し示す内容を、本文中の言葉を使って書きなさい。

(七) 傍線部分(5)「植物の種子も、各種の小鳥やリス・野ネズミ・昆虫類などの小動物にとっては、もつとも好ましい餌である」とあるが、植物の種子も、小鳥や小動物にとっては、もつとも好ましい餌であるのはなぜか、その理由を、動物の卵が他の動物に食べられやすい理由にふれて、本文中の言葉を使って二十五字以上三十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(八) 傍線部分(6)「種子を拡散させて、子孫の生活圏を広げていき、子供どうしの無駄な競争が起こらないようにすることも必要である」とあるが、「子供どうしの無駄な競争」が起こらないようにすることが必要であるのはなぜか、その理由を、「子供どうしの無駄な競争」の具体的な内容にふれて、本文中の言葉を使って書きなさい。

(次のページへ) ←

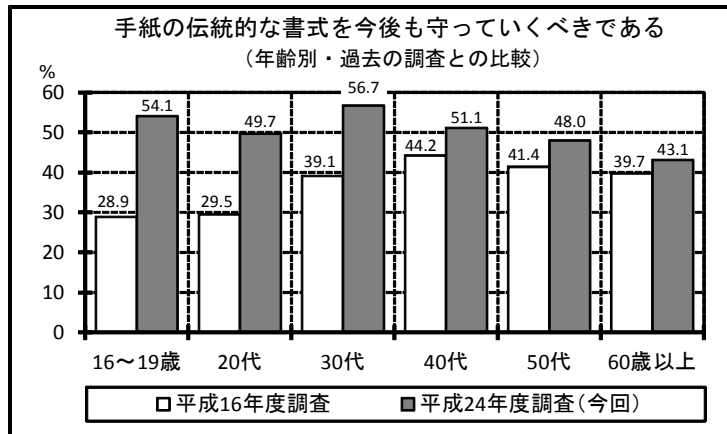
次の【資料A】、【資料B】、【資料C】と、【発表原稿】は、中学生のけんたさんが、国語の時間に、手紙の伝統的な書式に対する人々の意識について調べたことを発表するときに使用したものである。これらを読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

【資料A】

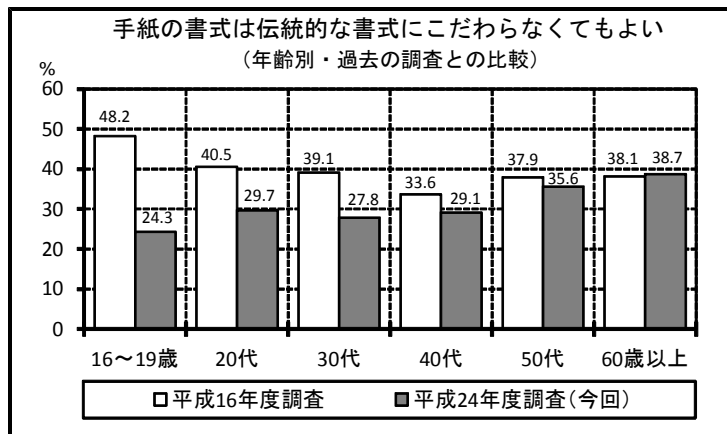
手紙の伝統的な書式を今後も守っていくべきである、手紙の書式は伝統的な書式にこだわらなくてもよい、の二つを挙げて、どちらの考えに近いかを尋ねた。

回答	平成16年度	平成24年度
手紙の伝統的な書式を今後も守っていくべきである	39.3%	47.8%
手紙の書式は伝統的な書式にこだわらなくてもよい	38.1%	34.1%
どちらとも言えない	20.3%	17.2%
分からない	2.3%	0.9%

【資料B】



【資料C】



(【資料A】、【資料B】、【資料C】は、文化庁の「平成24年度国語に関する世論調査」から作成)

【発表原稿】

私は、「総合的な学習の時間」でお世話になった地域の方々には感謝の気持ちを伝えようと思い、手紙の書き方について調べました。すると、手紙には、「時候のあいさつ」や「頭語・結語」などの伝統的な書式があり、季節や相手に応じた書き方があることがわかりました。このことがきっかけとなって、私は、手紙の伝統的な書式に対する人々の意識について関心を持ち、文化庁の「国語に関する世論調査」の結果を調べました。

【資料A】は、「手紙の伝統的な書式を今後も守っていくべきである」と「手紙の書式は伝統的な書式にこだわらなくてもよい」という二つの考え方を挙げて、どちらの考え方に近いかを尋ねた調査結果をまとめたものです。平成二十四年度の調査では、「手紙の伝統的な書式を今後も守っていくべきである」とした人の割合は五割弱となり、三割台半ばであった「手紙の書式は伝統的な書式にこだわらな

くてもよい」とした人の割合を ① います。また、平成十六年度の調査では、「手紙の伝統的な書式を今後も守っていくべきである」と「手紙の書式は伝統的な書式にこだわらなくてもよい」の差は一・二ポイントと小さかったのですが、平成二十四年度の調査では、十三・七ポイントまで ② います。

【資料B】は、「手紙の伝統的な書式を今後も守っていくべきである」を選んだ人の割合を、年齢別に過去（平成十六年度）の調査結果と比較したグラフです。また、【資料C】は、「手紙の書式は伝統的な書式にこだわらなくてもよい」を選んだ人の割合を、年齢別に過去（平成十六年度）の調査結果と比較したグラフです。「③」と考えている人の割合は、平成十六年度と平成二十四年度を比較すると、どの年代でも増加しています。特に十六歳から十九歳と二十代では、それぞれ二十ポイント以上の増加が見られます。一方、「④」と考えている人の割合は、六十歳以上を除いて減少しています。

これらのことから、「⑤」と考えている人が若年層を中心に大きく増加していることがわかりました。日本をはじめ、世界には、伝統的なものがたくさんあります。私も、若い世代の一人として、日本の伝統的なものを大切にしていきたいと思えます。

(一) 【発表原稿】の ①、② に当てはまる言葉の組み合わせとして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、① 上回って — ② 縮まって      イ、① 上回って — ② 開いて

ウ、① 下回って — ② 開いて      エ、① 下回って — ② 縮まって

(二) 【発表原稿】の ③、④、⑤ には、次のア、イのどちらの言葉が当てはまるか、最も適当なものを次の中からそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、手紙の伝統的な書式を今後も守っていくべきである

イ、手紙の書式は伝統的な書式にこだわらなくてもよい

(三) 【発表原稿】の二重傍線部分「日本をはじめ、世界には、伝統的なものがたくさんあります」とあるが、あなたが大切にしていきたいと考える「伝統的なもの」を具体的に一つ取り上げて、あなたの考えや意見を、「作文の注意」にしたがって書きなさい。

〔作文の注意〕

① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。

② あなたが大切にしていきたいと考える「伝統的なもの」について、あなたがそのように考える理由を明確にして書きなさい。

③ 自分の体験や見たり聞いたたりしたことを具体的に取り上げて書きなさい。

④ あなたの考えや意見が的確に伝わるように書きなさい。

⑤ 原稿用紙の使い方にしたがって、全体を三百字以上四百字以内にまとめなさい。

—— おわり ——